

兵庫県下の経済動向

平成23年1月

但馬銀行
TAJIMA BANK

目 次

概 況	1
生 産	2
個人消費	4
設備投資	6
住宅投資	8
公共工事	9
貿 易	10
物 価	11
雇 用	13
信用保証	15
金 融	16
倒 産	17

【概 況】

最近の県内景気は、持ち直しを続けているが、そのペースは一段と鈍化している。輸出は、増加を続けているものの、その伸びは鈍化している。生産は、増加ペースが鈍化している。設備投資は、下げ止まっている。個人消費は、持ち直しの動きがみられる中で、耐久消費財では強弱の動きが交錯している。また、住宅投資は持ち直し基調にある一方、公共投資は増勢が一服している。この間、雇用・所得環境は依然厳しい状況にあるが、改善の動きがみられている。

需要面の動きをみると、個人消費は、百貨店売上高が冬物の衣料品が伸びたものの、5か月連続で前年を下回った。乗用車販売は、エコカー補助金終了の影響により、普通乗用車、小型乗用車が減少したことから、4か月連続で前年を下回った。家電販売は、エコポイント制度見直しに伴う駆け込みの反動で、薄型テレビの販売は大きく減少しているものの、気温低下により暖房器具の販売が増加している。

設備投資は、製造業がほぼ横ばいの計画となっているほか、非製造業が増加計画となっていることから、2009年度に大きく落ち込んだ後、小幅ながら増加に転じる計画となっている。

住宅投資は、持家は増加したものの、分譲住宅、貸家が減少し、全体では2か月連続で前年を下回った。

公共工事は、国は増加したものの、神戸市や兵庫県などが減少したことから、2か月ぶりに前年を下回った。

貿易は、輸出が米国、アジア、EU向けが増加し、11か月連続で前年を上回った。また、輸入については2か月ぶりに前年を上回った。

生産活動は、鉱工業生産指数でみると、情報通信機械工業、電子部品・デバイス工業、電気機械工業などの低下により3か月連続で低下した。

雇用関係では、有効求人倍率は前月比横ばいとなり、新規求人数は前年を上回った。

また、所定外労働時間および一人当たり名目賃金は前年を上回ったものの、常用労働者数は前年を下回った。

金融情勢は、預金が前年を上回って推移しているものの、貸出については前年を下回って推移している。

企業倒産は、件数が前月および前年を下回り、負債総額は前月を下回ったものの、前年を上回った。

兵庫DI及び兵庫CIから見た県内の景気動向。

10月の兵庫DIは、先行指数14.3%、一致指数44.4%、遅行指数75.0%となった。

10月の兵庫CIは、先行指数85.0、一致指数89.4、遅行指数101.4となった。

兵庫DIは、先行指数および一致指数が2か月連続で好不況の判断の分かれ目となる50%を下回り、遅行指数が4か月連続で50%を上回った。

一方、兵庫CIは、先行指数および一致指数が2か月連続で前月差減となり、遅行指数は2か月ぶりに前月差増となった。

県統計課は「総じてみれば兵庫県の生産活動は、弱含み傾向」としている。

*兵庫DIと兵庫CI・・・兵庫県内の経済指標から景気の状態を導く指数。県景気変動指数(兵庫DI)は50%が好不況の別れ目で、景気の拡張、後退などを判断する。県景気総合指数(兵庫CI)は景気変動の大きさを測定し、指数の前月との差の大小をみる。

資料：兵庫県企画管理部管理局統計課

【生 産】

11月の県鉱工業生産指数(平成17年=100、季節調整済、速報)は93.1、前月比2.3%低下。出荷指数は91.9、同2.8%低下。在庫指数は107.8、同0.2%低下。在庫率は127.2、同0.2%低下。生産指数は3か月連続、出荷指数は2か月ぶりに低下した。また在庫指数は6か月ぶりに低下した。

前年同月比(原指数)では、生産が6.6%増で12か月連続で上昇、出荷も4.1%増で12か月連続で上昇した。また在庫は6.6%増で4か月連続で上昇した。

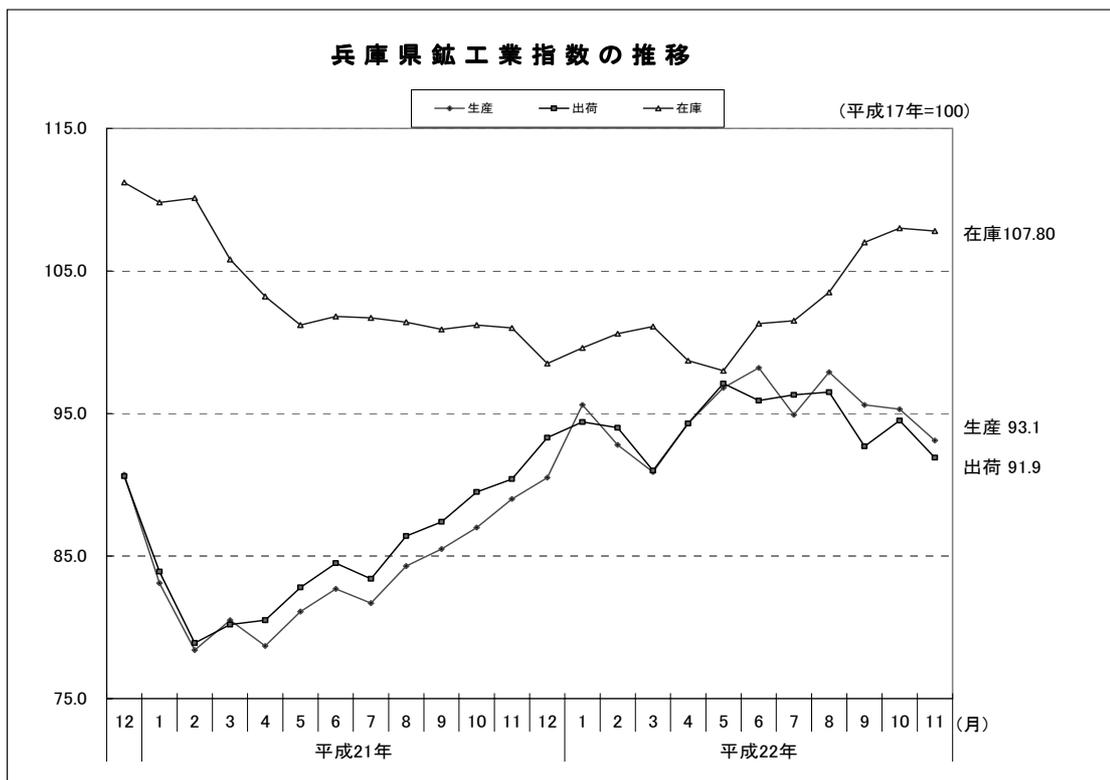
主要業種の生産動向を対前月比で見ると、普通鋼鋼帯等の「鉄鋼」が6.2%、シヨベル系掘削機械等の「一般機械」が5.1%、化粧品等の「化学」が1.3%、パン類等の「食料品」が0.6%各々上昇したものの、テレメータ・テレコントロール等の「情報通信機械」が16.5%、PDPモジュール等の「電子部品・デバイス」が13.3%、一般用タービン発電機等の「電気機械」が8.6%、ガス温風暖房機等の「金属製品」が6.2%、船用ディーゼル機関等の「輸送機械」が2.3%各々低下した。

県統計課は、「兵庫県の生産活動は、弱含み傾向」としている。

11月の兵庫県鉱工業指数 (速報、平成17年=100)

区 分	季節調整済指数		原 指 数	
	対前月比増減(%)	対前年同月比増減(%)	原 指 数	対前年同月比増減(%)
生 産	93.1	2.3	96.3	6.6
出 荷	91.9	2.8	94.8	4.1
在 庫	107.8	0.2	109.2	6.6
在 庫 率	127.2	0.2	118.2	1.0

資料：兵庫県企画管理部管理局統計課



11月の県内鉱工業生産指数(主要9業種の動向)

(速報、平成17年=100)

業 種	指 数	対前月比 増減 %	指数の上昇又は低下に寄与した品目	
			上昇	低下
鉄 鋼	92.4	6.2	上昇	普通鋼鋼帯、普通鋼冷延広幅帯鋼、鋼半製品、粗鋼
			低下	亜鉛めっき鋼板、鋳鉄管、普通鋼鋼管、特殊鋼熱間圧延鋼材
金属製品	84.2	6.2	上昇	ガス風呂がま、PC鋼より線、超硬チップ、石油温水給湯暖房機
			低下	ガス温風暖房機、粉末や金製磁性材料、橋りょう、機械刃物
一般機械	96.2	5.1	上昇	ショベル系掘削機械、プレス用金型、熱交換機、トンネル掘進機
			低下	反応用機器、混合機・かくはん機・粉碎機、ボイラ部品、一般用蒸気タービン
電気機械	112.4	8.6	上昇	非標準油入り変圧器(10000kVA以上)、リチウムイオン蓄電池、工業用計制御機器、内燃機関電装品
			低下	一般用タービン発電機、電力変換装置、開閉制御装置、アルカリ蓄電池
情報通信機械	80.2	16.5	上昇	パーソナルコンピュータ、陸上移動通信装置(携帯電話以外)、無線位置測定装置、プリンタ
			低下	テレメータ・テレコントロール、カーナビゲーション、固定通信装置、カーオーディオ
電子部品デバイス	130.9	13.3	上昇	アクティブ型液晶素子(7.7インチ以上)、レーザダイオード、IGBT、シリコンウエハ
			低下	PDPモジュール、シリコンダイオード、シリコントランジスタ(1W未満)、電界効果型トランジスタ、
輸送機械	80.8	2.3	上昇	船用蒸気タービン、旅客車、駆動伝導・操縦装置部品、ショベルトラック
			低下	船用ディーゼル機関、鋼船、特殊自動車、シャシー・車体部品
化 学	93.7	1.3	上昇	化粧品、複合肥料(化成肥料)、ポリスチレン、塩化ビニル樹脂
			低下	無水酢酸、医薬品、自動車排気ガス浄化用触媒、酢酸(99%換算)
食 料 品	97.1	0.6	上昇	パン類、肉製品、即席めん、精米
			低下	ビール類、清酒、めん類、米菓

資料：兵庫県企画管理部管理局統計課

【個人消費】『百貨店売上』

兵庫県百貨店協会がまとめた12月の県内百貨店売上高は、前年同月比1.3%減の267億240万円となり、5か月連続で前年を下回ったものの減少率は小幅で、株価の回復などによる消費意欲の改善が寄与したとみられる。月後半の気温低下により、冬物の衣料品が伸びたことなども要因となった。

神戸地区では、大丸神戸店が唯一前年を上回った。紳士、婦人ともに衣料品が前年同月比でプラスだったほか、食料品も前年並みを確保した。そごう神戸店は、婦人衣料やおせち料理、クリスマスケーキは好調だったが、紳士服が苦戦し、1.9%減となった。

姫路・加古川地区では、山陽百貨店が0.9%増。コートなどの冬物衣料と食料品が前年を上回った。各店によると、今年1月の売上高は急激な気温の低下で、衣料品や防寒の小物、鍋物商材などが好調に推移しているという。

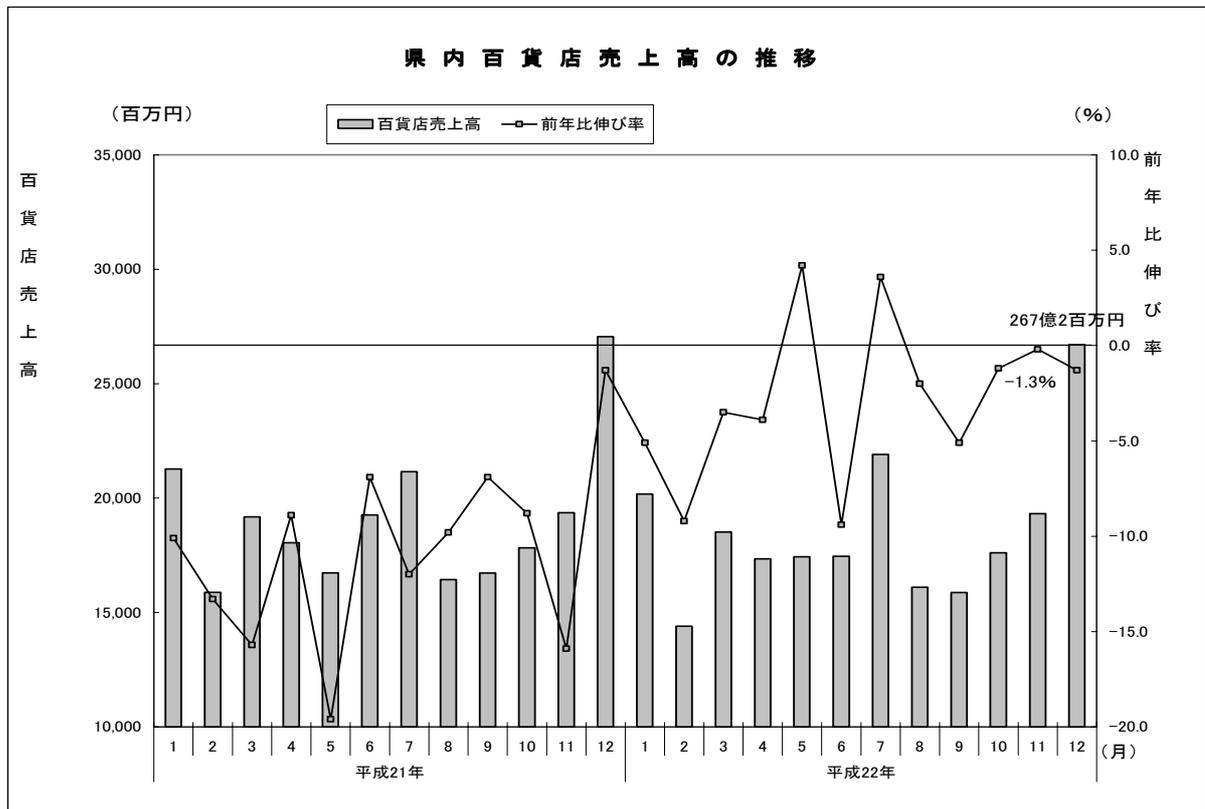
12月の県内百貨店売上高

品目 \ 地区	神戸	姫路	合計
紳士服・洋品	1,211(3.3)	284(0.3)	1,495(2.6)
婦人服・洋品	5,374(3.0)	729(0.9)	6,104(2.7)
子供服・洋品	559(4.1)	119(0.7)	679(3.3)
身の回り品	2,256(4.5)	317(3.9)	2,574(3.6)
家庭用品	911(4.4)	201(2.1)	1,112(4.0)
食料品	8,279(0.8)	1,798(2.4)	10,077(1.1)
雑貨	2,856(5.2)	544(5.7)	3,401(5.3)
その他	904(3.3)	353(13.9)	1,257(6.5)
計	22,353(1.0)	4,349(2.7)	26,702(1.3)

* 単位百万円、未満切捨て。()内は前年同月比伸び率%

資料：兵庫県百貨店協会

* 神戸地区には芦屋・宝塚、姫路地区には加古川を含む。



【個人消費】『新車登録』

県内12月の乗用車新車登録台数は9,426台、前年同月比26.9%減と4か月連続で前年同月の実績を下回った。エコカー補助金終了の影響によるもの。

11月の乗用車新車登録を車種別にみると、普通乗用車は3,318台(前年同月比33.2%減)、小型乗用車は2,949台(同38.3%減)、軽乗用車は3,159台(同横ばい)、乗用車合計で9,426台(同26.9%減)となった。

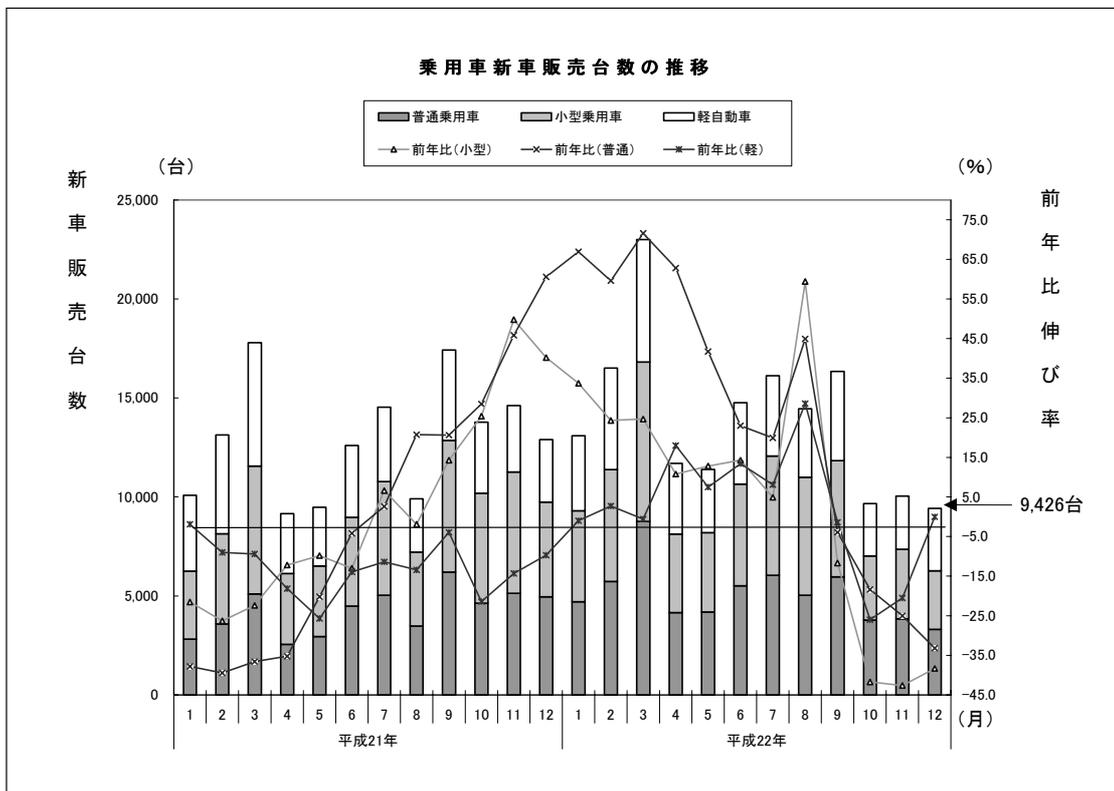
また貨物車等では、普通貨物車は199台(前年同月比35.4%増)、小型貨物車は413台(同3.5%減)、軽貨物車は937台(同13.6%減)、バスは17台(同13.3%増)となった。

12月の新車販売(登録)台数

(単位：台、%)

車種	兵庫県	前年同月比	全国	前年同月比
普通乗用車	3,318	33.2	77,954	30.6
小型乗用車	2,949	38.3	79,489	32.7
軽乗用車	3,159	0.0	82,209	9.9
乗用車合計	9,426	26.9	239,652	25.5
普通貨物車	199	35.4	8,526	31.7
小型貨物車	413	3.5	13,017	0.8
軽貨物車	937	13.6	25,970	16.0
貨物車合計	1,549	6.7	47,513	5.6
バス	17	13.3	680	11.2
登録車総計	10,992	24.6	287,845	22.7

資料：自販連兵庫県支部、兵庫県軽自動車協会



【設備投資】

内閣府が1月13日に発表した機械受注統計によると、平成22年11月実績は以下のとおり。

最近の機械受注総額(季節調整値)の動向をみると、22年10月前月比6.6%増の後、11月は同8.3%減の1兆9,587億円となった。

このうち民間設備投資の先行指標である「船舶・電力を除く民需」は、10月前月比1.4%減の後、11月は同3.0%減の7,230億円となった。

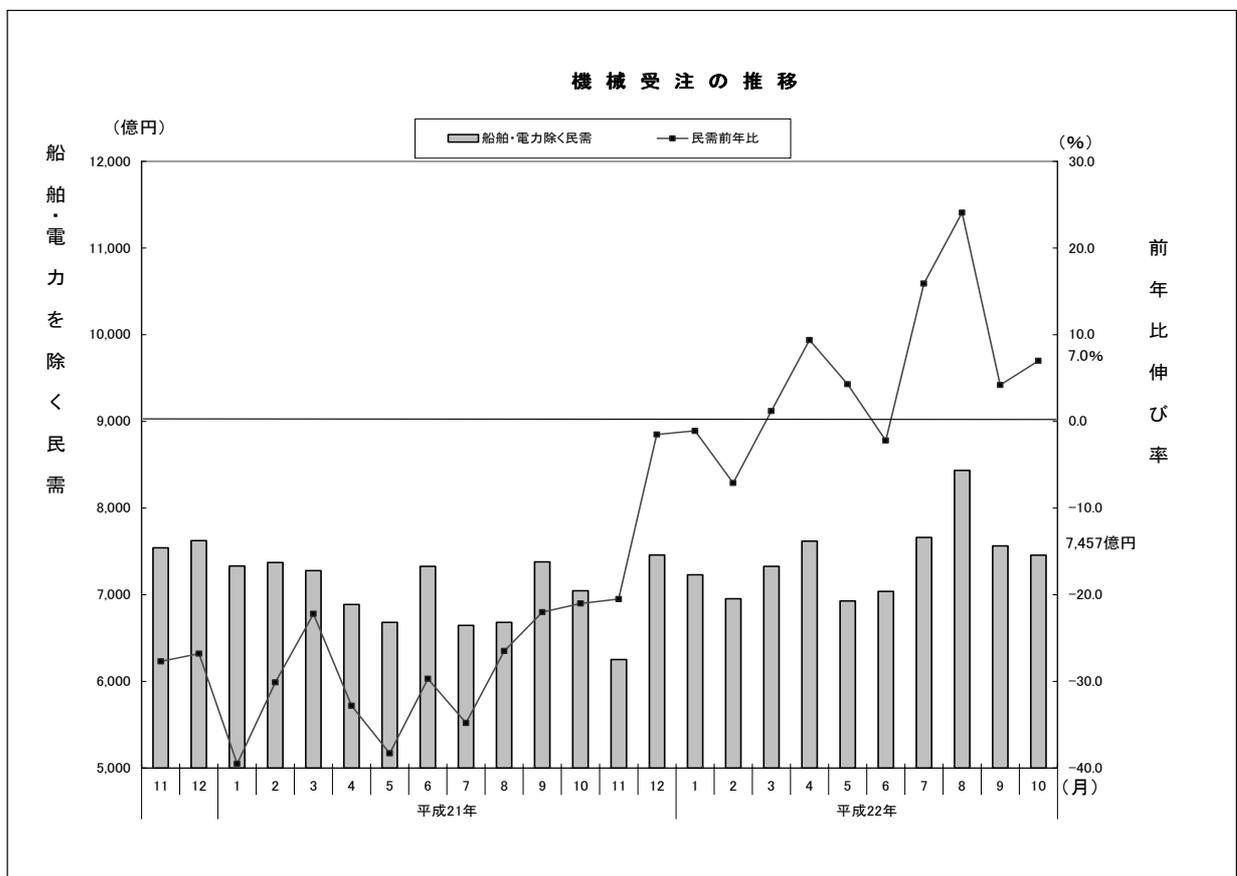
内訳をみると、製造業が同10.6%増の3,101億円、非製造業(船舶・電力を除く)が同10.5%減の4,132億円であった。

製造業民需受注を業種別でみると、前月比で増加したのは17業種中、その他輸送用機械(80.9%増)、情報通信機械(78.1%増)、精密機械(44.6%増)、化学工業(34.6%増)、鉄鋼業(32.5%増)、食品製造業(25.5%増)、パルプ・紙・紙加工品(24.6%増)等の12業種で、石油製品・石炭製品(59.1%減)、非鉄金属(44.6%減)、窯業・土石製品(42.8%減)、電気機械(40.5%減)等の5業種は減少となった。

一方、非製造業では、前月比で増加したのは12業種中、不動産業(40.2%増)、情報サービス業(30.7%増)、農林漁業(15.0%増)等の5業種で、鉱業(64.6%減)、運輸業(32.0%減)、リース業(23.2%減)、通信業(20.0%減)等の7業種は減少となった。

兵庫県下においては、2010年度設備投資額は、製造業がほぼ横ばいを見込んでいるほか、非製造業が増加を見込んでおり、全産業では増加計画となっている。

*全国企業短期経済観測調査(短観)結果。2010年12月 兵庫県
設備投資計画：全産業前年度比+2.3%(製造業+1.0%、非製造業+9.1%)



機 械 受 注 統 計 (平 成 22 年 11 月 分)

	21年 10~12月 実績	22年 1~3月 実績	4~6月 実績	7~9月 実績	10~12月 見通し	22年 8月 実績	9月 実績	10月 実績	11月 実績
受注総額	53,425 (8.0) [-5.8]	58,247 (9.0) [17.4]	55,988 (-3.9) [23.7]	62,207 (11.1) [24.8]	60,965 (-2.0) [16.0]	22,070 (9.8) [38.4]	20,033 (-9.2) [16.6]	21,364 (6.6) [22.9]	19,587 (-8.3) [16.5]
民 需	25,095 (0.6) [-10.1]	25,854 (3.0) [0.2]	24,955 (-3.5) [-2.0]	29,212 (17.1) [15.3]	25,867 (-11.5) [8.6]	11,304 (24.6) [32.2]	8,838 (-21.8) [4.4]	8,761 (-0.9) [5.4]	8,205 (-6.3) [13.2]
〃 (Ex 船・電)	20,904 (1.1) [-14.0]	21,514 (2.9) [-1.8]	21,589 (0.3) [3.3]	23,662 (9.6) [13.0]	21,354 (-9.8) [7.5]	8,435 (10.1) [24.1]	7,565 (-10.3) [4.2]	7,457 (-1.4) [7.0]	7,230 (-3.0) [11.6]
製 造 業	7,994 (16.8) [-17.3]	9,129 (14.2) [29.2]	8,342 (-8.6) [13.2]	9,357 (12.2) [34.3]	9,192 (-1.8) [17.1]	3,490 (12.5) [50.8]	2,766 (-20.7) [19.6]	2,803 (1.4) [4.2]	3,101 (10.6) [25.0]
非製造業 (Ex 船・電)	12,956 (-7.9) [-10.8]	12,471 (-3.7) [-15.0]	13,192 (5.8) [-2.4]	14,499 (9.9) [2.3]	12,301 (-15.2) [0.4]	4,909 (8.3) [10.1]	5,058 (3.0) [-3.3]	4,616 (-8.7) [6.2]	4,132 (-10.5) [3.9]
官 公 需	6,683 (-17.0) [-0.8]	6,861 (2.7) [-1.9]	6,845 (-0.2) [-4.8]	7,146 (4.4) [-10.1]	7,096 (-0.7) [20.3]	2,589 (10.1) [-4.5]	2,207 (-14.7) [-8.3]	2,421 (9.7) [13.4]	2,383 (-1.6) [3.9]
外 需	19,635 (26.7) [-0.9]	22,275 (13.4) [72.2]	22,806 (2.4) [94.2]	23,919 (4.9) [54.1]	26,141 (9.3) [25.8]	7,697 (-3.7) [68.9]	8,227 (6.9) [47.5]	9,544 (16.0) [51.5]	7,847 (-17.8) [24.4]
代 理 店	2,183 (9.0) [-13.0]	2,356 (7.9) [12.6]	2,408 (2.2) [32.4]	2,457 (2.0) [22.1]	2,555 (4.0) [17.1]	912 (16.8) [35.8]	763 (-16.4) [11.3]	724 (-5.1) [2.8]	855 (18.1) [15.6]

資料：内閣府経済社会総合研究所

- 備考 1. 季節調整系列は個別に季節調整を行っているため、需要者別内訳の合計は全体の季節調整値とは一致しない。
2. 四半期は合計額、()内は対前期(月)増減率、[]内は原系列による対前年同期(月)増減率。

【住宅投資】

県内 11 月の新設住宅着工戸数は、総数で 2,522 戸(前年同月比 12.2%減)となり、持家は増加したものの、分譲住宅、貸家が減少し、全体では 2 か月連続で前年を下回った。また、前月比では 150 戸の増加となった。

11 月の新設住宅着工戸数

(速報、単位：戸、%)

	兵庫県	前年同月比	全国	前年同月比
持家系・持家	1,092	2.6	27,235	7.1
・分譲住宅	619	21.3	18,549	46.3
貸家系・貸家	807	17.6	26,703	9.5
・給与住宅	4	90.7	351	38.6
総数	2,522	12.2	72,838	6.8

資料：兵庫県住宅計画課、国土交通省

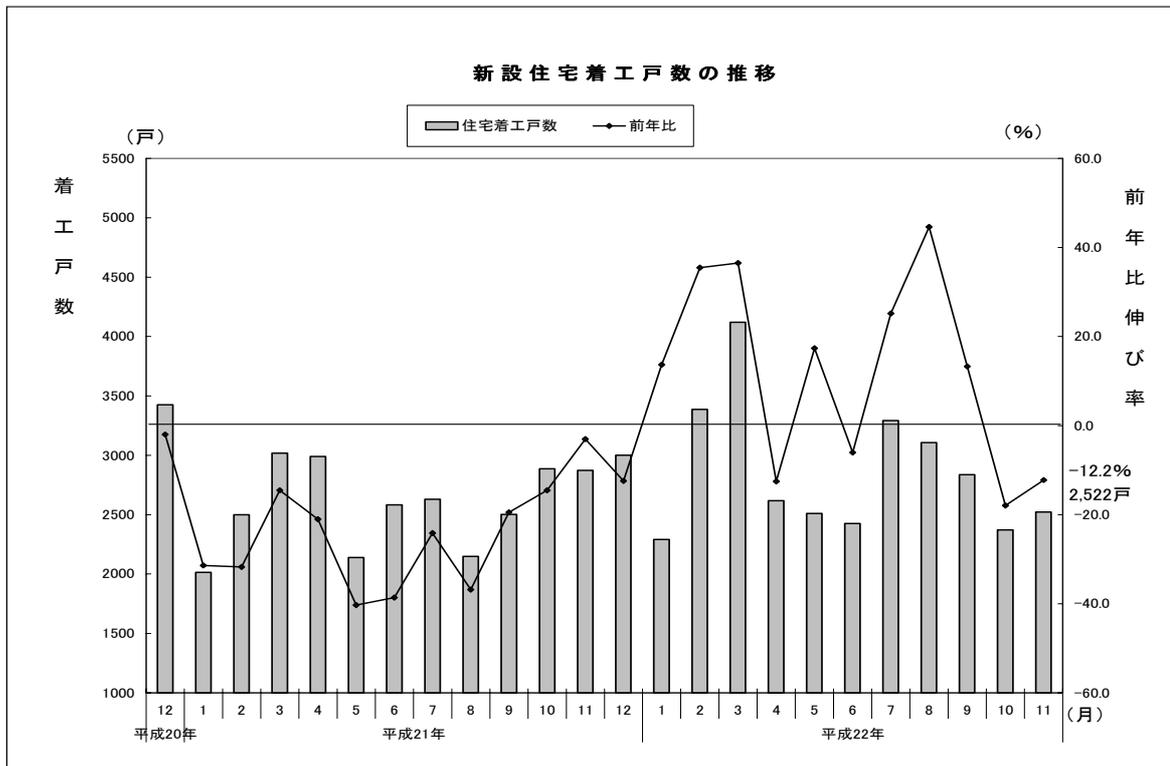
11 月の地域別着工戸数

(戸)

地域	神戸	阪神南	阪神北	東播磨	北播磨	中播磨	西播磨	但馬	丹波	淡路	計
戸数	671	522	306	333	90	326	149	69	34	22	2,522
前月比	+28	+164	+55	-49	-42	-27	+24	+11	+14	-28	+150

資料：兵庫県住宅計画課

平成 22 年 4 月～11 月の新設住宅着工累計は、総数で 21,685 戸、前年同期比 930 戸の増加となった。利用関係別では「持家」が 7,705 戸(前年同期比 4.7%増)、「分譲住宅」が 6,218 戸(同 7.2%増)、「貸家」が 7,473 戸(同 7.6%増)、「給与住宅」が 289 戸(同 55.3%減)となった。



【公共工事】

12月の県内公共工事動向を西日本建設業保証(株)兵庫支店の前払金保証取扱状況でみると、件数は553件で前年同月比11.7%の減少、請負金額は193億50百万円で同10.8%の減少となり、金額ベースで2か月ぶりに前年同月を下回った。

発注者別(金額ベース)にみると、「国」が前年同月比150.6%の増加となったものの、「神戸市」同25.9%、「神戸市を除く市町」同24.4%、「その他の団体」同16.5%、「兵庫県」同15.6%、「独立行政法人等」同14.4%の減少となり、前年同月を下回った。

地域別(金額ベース)では、阪神北(前年同月比115.4%増) 西播磨(同44.4%増) 丹波(同15.9%増) 但馬(同8.1%増) 東播磨(同5.7%増)で増加となったが、淡路(同75.8%減) 北播磨(同36.1%減) 神戸市(同35.9%減)、阪神南(同22.1%減)等では減少となった。

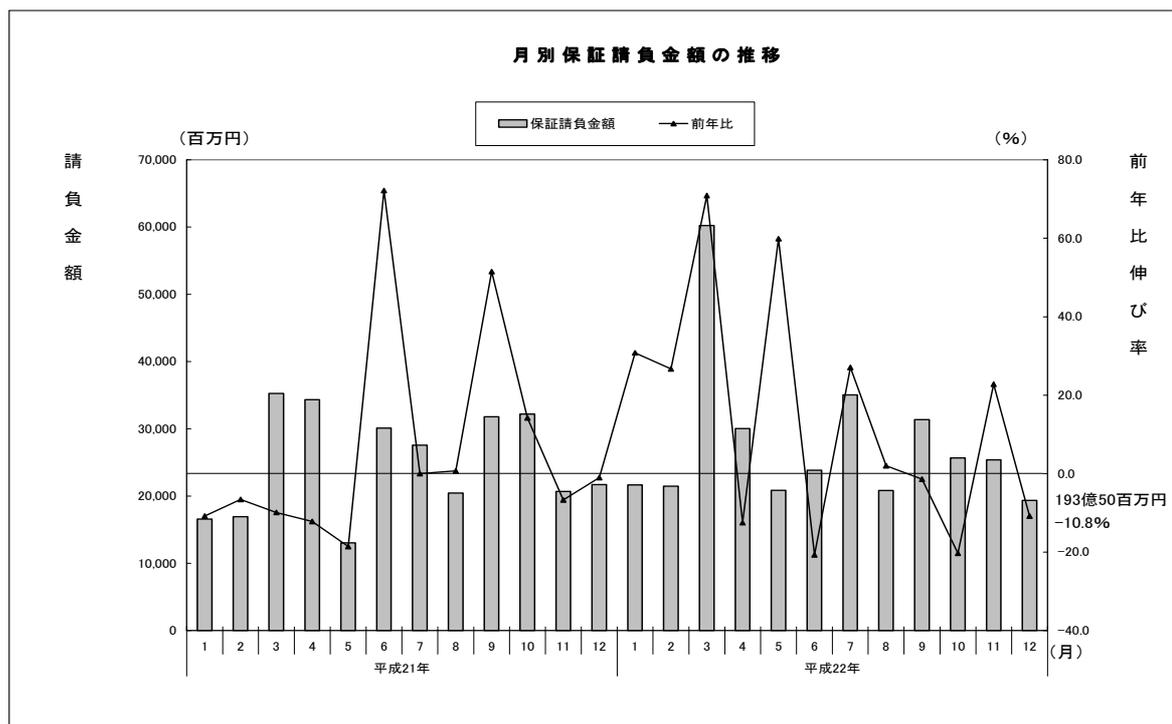
請負金額を平成22年度(22年4月～12月)の累計でみると、2,323億51百万円となり、前年同期比0.2%の増加となった。

12月の公共工事発注状況

金額単位未満切捨て、()内は前年同月比伸び率増減：%

発注者	件数	金額(百万円)	大型工事明細
国	21(0.0)	3,039(150.6)	和田山八鹿道路枚田トンネル工事、加古川刑務所収容棟等新営工事
独立行政法人等	14(12.5)	1,058(14.4)	
兵庫県	209(4.6)	6,194(15.6)	ひょうご情報公園都市E工区粗造成工事
神戸市	78(2.6)	2,544(25.9)	須磨区役所建設工事
神戸市を除く市町	205(23.8)	5,362(24.4)	伊丹市社会教育施設(新図書館)等整備工事
その他の団体	26(4.0)	1,152(16.5)	
合計	553(11.7)	19,350(10.8)	

資料：西日本建設業保証(株)



【貿易】

平成22年11月の神戸港貿易概況(速報)によると、輸出入総額は6,096億円、前年同月比13.1%の増加で、総額ベース11か月連続の増加となった。輸出は、自動車などが減少したものの、建設用・鉱山用機械、ガラス及び同製品などが増加した。一方輸入は、たばこなどが減少したものの、音響・映像機器、非鉄金属などが増加した。

輸出は4,094億円(前年同月比17.5%増加)と11か月連続で前年を上回った。

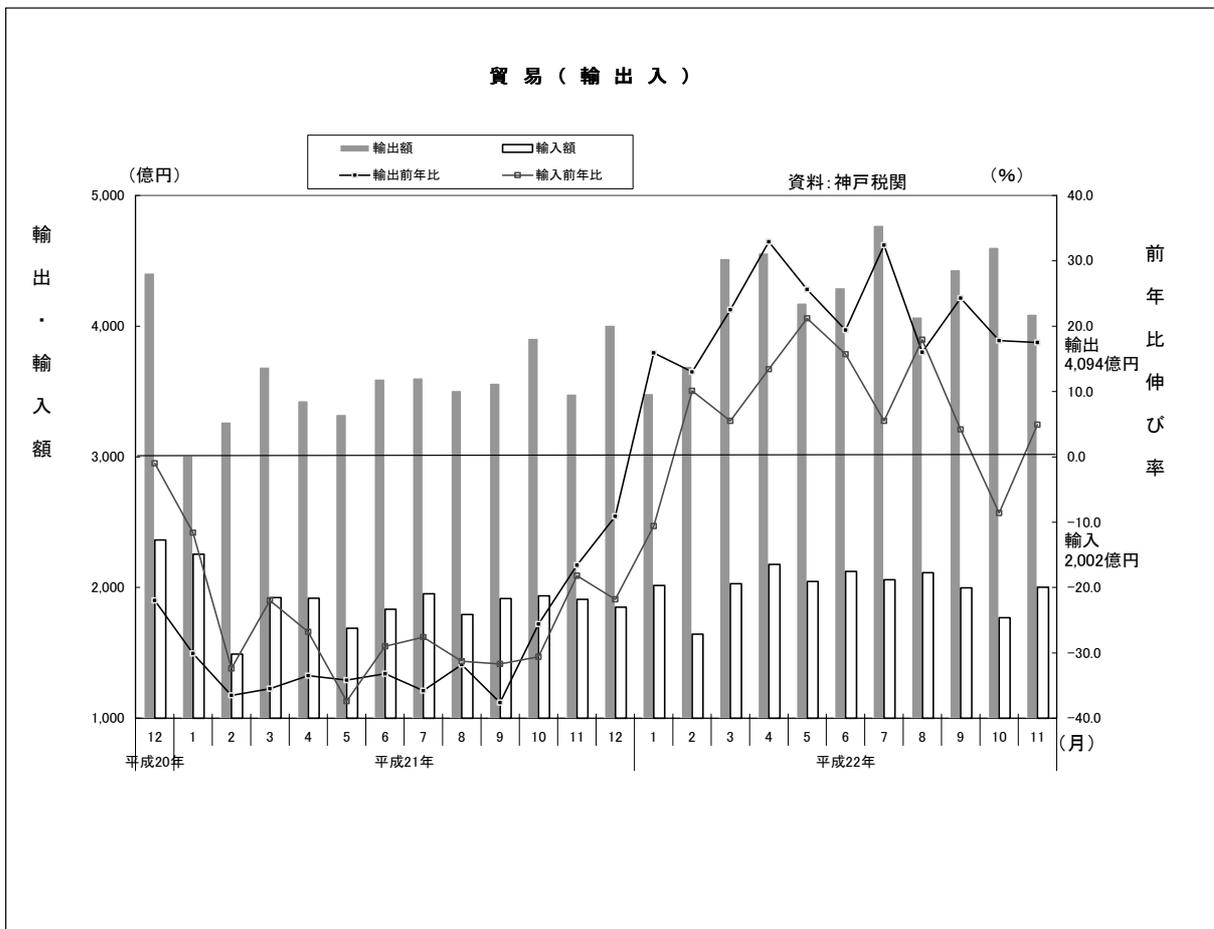
主要品目では、織物用糸及び繊維製品(前年同月比0.6%減、2か月連続マイナス)が減少したものの、原動機(同23.4%増、5か月連続プラス)、プラスチック(同2.2%増、2か月ぶりにプラス)、建設用・鉱山用機械(同97.4%増、11か月連続プラス)が増加した。

主要地域(国)別では、アジア(同16.2%増、12か月連続プラス)、中国(同23.0%増、12か月連続プラス)、米国(同31.1%増、11か月連続プラス)、EU(同18.4%増、5か月連続プラス)向けが各々増加した。

輸入は2,002億円(前年同月比8.6%減少)と2か月ぶりに前年を上回った。

主要品目では、衣類及び同附属品(前年同月比13.1%減、5か月連続マイナス)、たばこ(同28.0%減、2か月連続マイナス)が減少したものの、非鉄金属(同25.4%増、10か月連続プラス)、有機化合物(同1.0%増、10か月連続プラス)が増加した。

主要地域(国)別では、アジア(同7.8%増、2か月ぶりにプラス)、中国(同12.0%増、3か月ぶりにプラス)向けが増加し、米国(同2.7%減、2か月連続マイナス)、EU(同0.3%減、3か月連続マイナス)向けが減少した。



【物 価】『消費者物価』

12月の神戸市消費者物価指数は、総合指数が99.6(平成17年=100)となり、前月比は0.6%下落し、前年同月比は0.6%上昇した。生鮮食品を除く総合指数は99.4となり、前月と変わらず、前年同月比は0.1%上昇した。また、食料(酒類を除く)及びエネルギーを除く総合指数は98.1となり、前月比は0.1%下落し、前年同月比は0.3%上昇した。

前月からの動きを見ると、教養娯楽サービスなどの値上がりにより「教養娯楽」が0.4%、家賃の値上がりにより「住居」が0.1%上昇した。しかしながら、野菜・海藻などの値下がりにより「食料」が1.9%、自動車等関係費などの値下がりにより「交通・通信」が0.6%下落した結果、総合指数では0.6%下落した。

12月の神戸市消費者物価指数(速報)

	総合	食料	住居	光熱水道	家具 家事用品	被服及履物	保健医療	交通通信	教育	教養娯楽	諸雑費	生鮮食品を除く総合	食料・エネルギーを除く総合
指数	99.6	101.5	99.3	102.8	88.3	101.8	98.3	97.9	98.0	95.0	105.9	99.4	98.1
前月比	-0.6	-1.9	0.1	-0.2	-0.6	0.0	0.0	-0.6	0.0	0.4	-0.3	0.0	-0.1
前年同月比	0.6	0.5	0.7	1.9	-3.6	1.3	0.2	-0.5	-3.9	0.5	5.9	0.1	0.3

(注)平成17年=100

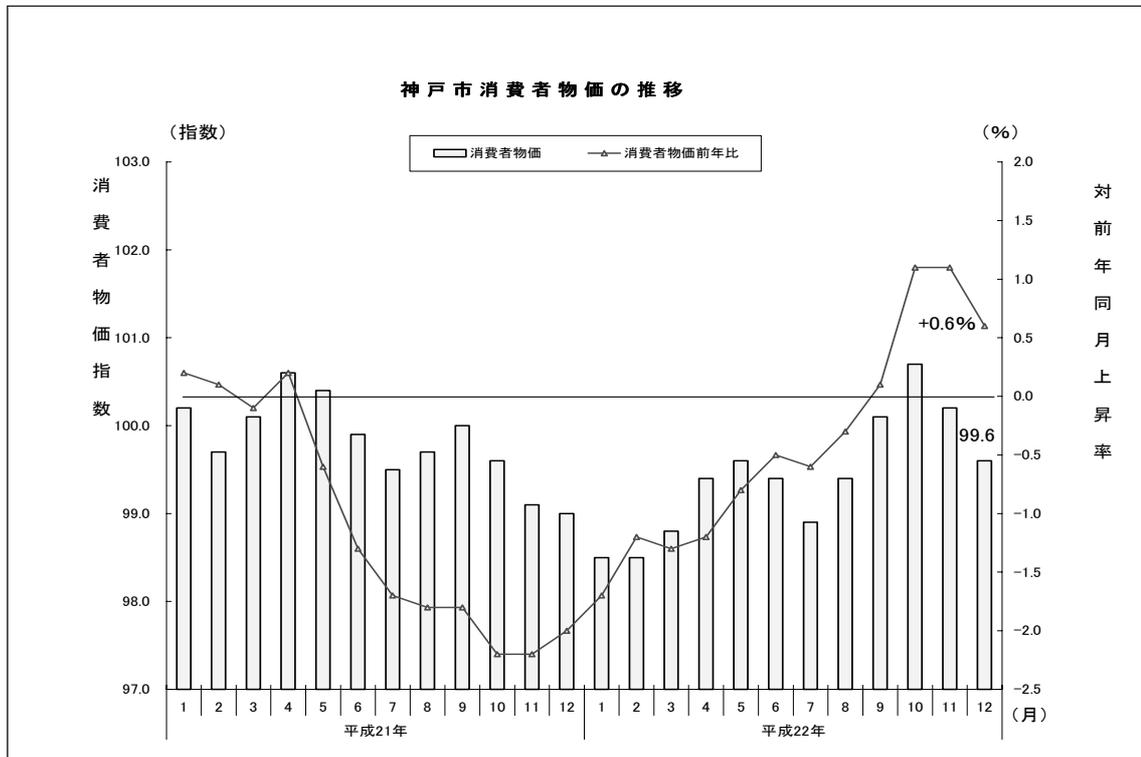
資料：兵庫県統計課

○対前月比値上がりした主な品目

- 教養娯楽サービス (+ 1.5%)・・・外国パック旅行
- 家賃 (+ 0.1%)・・・公営家賃、民営家賃(非木造中住宅)

対前月比値下がりした主な品目

- 野菜・海藻 (12.2%)・・・キャベツ、だいこん、ねぎ
- 自動車等関係費 (1.9%)・・・車庫借料、自動車保険料(任意)



【物 価】『企業物価』

日本銀行調査統計局が1月14日に発表した、企業物価指数(速報)による2010年12月の実績は次のとおり。

12月の企業物価指数

(速報、2005年=100)

	指 数	前月比(%)	前年同月比(%)
国内企業物価	103.4	0.4	1.2
輸出物価	85.1	0.8	2.2
輸入物価	108.0	2.9	4.1

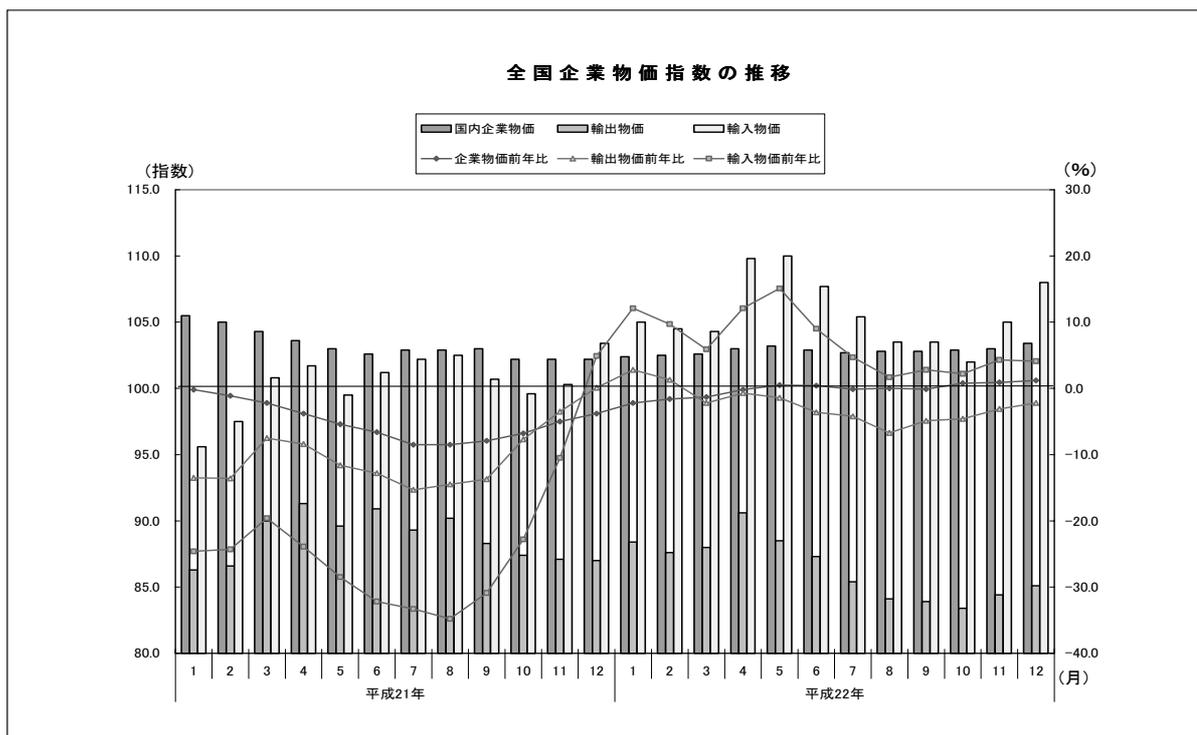
資料：日本銀行調査統計局

国内企業物価は、スクラップ類(前月比+9.2% <鉄くずなど>)、非鉄金属(同+3.0% <銅地金、プラスチック被覆銅線など>)、石油・石炭製品(同+2.9% <灯油、軽油など>)、農林水産物(同+2.6% <鶏肉、豚肉など>)、鉄鋼(同+0.4% <小型棒鋼、H型鋼など>)等が上昇、金属製品(同-0.7% <石油ストーブ、アルミニウムサッシなど>)、電力・都市ガス・水道(同-0.7% <大口都市ガス、特別高圧電力など>)等が下落し、全体では前月比0.4%の上昇となった。

前年同月比では、新興国の需要増などを反映した資源価格の上昇で、国内の金属や石油の関連製品が値上がりしたことによるもので、08年11月以来の高い伸び率となった。

輸出物価は、繊維品(前月比+3.7% <綿織物、アクリル短繊維など>)、金属・同製品(同+2.9% <銅地金、鉄くずなど>)、化学製品(同+2.5% <パラキシレン、合成ゴムなど>)、その他産品・製品(同+1.0% <がん具、C重油など>)等が上昇し、円ベースでは前月比0.8%の上昇(前年同月比-2.2%)となった。

輸入物価は、石油・石炭・天然ガス(前月比+5.2% <原油、ナフサ、液化石油ガスなど>)、金属・同製品(同+2.9% <銅鉱、ニッケル地金など>)、食料品・飼料(同+2.8% <とうもろこし、パーム油など>)、化学製品(同+2.5% <メタノール、汎用プラスチックなど>)が上昇し、円ベースでは前月比2.9%の上昇(前年同月比+4.1%)となった。



【雇 用】

(1) 求人状況

県内 11 月の新規求人数(全数)は、23,409 人(前年同月比 26.4%増、前月比 8.6%減)で、7 か月連続して前年を上回った。また、月間有効求人数(全数)は 62,221 人(前年同月比 20.1%増、前月比 0.4%減)で 7 か月連続して前年を上回った。

雇用形態別(新規求人)にみると、一般常用では前年同月比 22.1%増で 9 か月連続して前年を上回り、パートタイム(常用的パート+臨時的パート)については同 30.0%増で 7 か月連続して前年を上回った。また臨時・季節では同 37.9%増で 2 か月ぶりに前年を上回った。

さらに、新規求人を主要産業別にみると、建設業(前年同月比 36.9%増)、製造業(同 29.7%増)、情報通信業(同 21.6%増)、運輸業、郵便業(同 26.9%増)、卸売業、小売業(同 22.3%増)、学術研究、専門・技術サービス業(同 55.3%増)、宿泊業、飲食サービス業(同 45.3%増)、生活関連サービス業、娯楽業(同 31.1%増)、教育、学習支援業(同 31.9%増)、医療、福祉(同 14.0%増)、サービス業(同 38.9%増)で前年を上回った。

(2) 求職状況

11 月の新規求職申込件数(全数)は、21,711 件(前年同月比 2.3%減、前月比 15.7%減)で、2 か月連続で前年を下回った。また、月間有効求職者数(全数)は 105,462 人(前年同月比 6.1%減、前月比 4.4%減)で 6 か月連続して前年を下回った。

雇用形態別(新規求職)にみると、一般常用では前年同月比 4.5%減で 8 か月連続して前年を下回り、パートタイム(常用的パート+臨時的パート)では同 3.2%増で 2 か月ぶりに前年を上回った。また、臨時・季節については、前年同月比 5.7%増で 2 か月ぶりに前年を上回った。

さらに、新規常用求職者(パートを除く)を就業・不就業の態様別にみると、在職者は前年同月比 0.8%増で 2 か月ぶりに、無業者は同 20.2%増で 18 か月連続して前年を上回ったが、事業主都合離職者は同 19.1%減で 11 か月連続して、自己都合離職者は同 0.7%減で 6 か月連続して、自営・他は同 15.6%減で 2 か月連続して前年を下回った。

なお、雇用保険失業給付の受給者実人員は、28,271 人(前年同月比 15.9%減)で、9 か月連続して前年を下回った。

(3) 求人倍率状況

11 月の求人倍率(季節調整値)は、新規求人倍率が 0.97 倍で前月を上回り、有効求人倍率については 0.53 倍で前月と同水準となった。

(4) 失業者の状況

11 月の全国の完全失業率(季節調整値)は 5.1%で前月と同水準となり、完全失業者数(原数値)は 318 万人(前年同月差 13 万人減)となった。また、近畿の完全失業率(原数値)は 6.1%(前年同月差 0.2 ポイント増)で、完全失業者数(原数値)は 62 万人(前年同月と同数)となった。

産業別新規求人数の状況

(新規学卒者を除きパートタイムを含む)

	全 産 業	建 設 業	製 造 業	情 報 通 信 業	運 輸 ・ 郵 便 業	卸 売 ・ 小 売 業	金 融 ・ 保 険 業	不 動 産 ・ 物 品 賃 貸 業	学 術 研 究 ・ 専 門 ・ 技 術 サ ー ビ ス 業	宿 泊 ・ 飲 食 サ ー ビ ス 業	生 活 関 連 サ ー ビ ス ・ 娯 楽 業	医 療 ・ 福 祉	サ ー ビ ス 業
22年11月	23,409	1,635	2,867	214	1,613	3,840	219	379	764	1,861	906	5,179	3,000
前年同月比	26.4	36.9	29.7	21.6	26.9	22.3	135.5	3.0	55.3	45.3	31.1	14.0	38.9

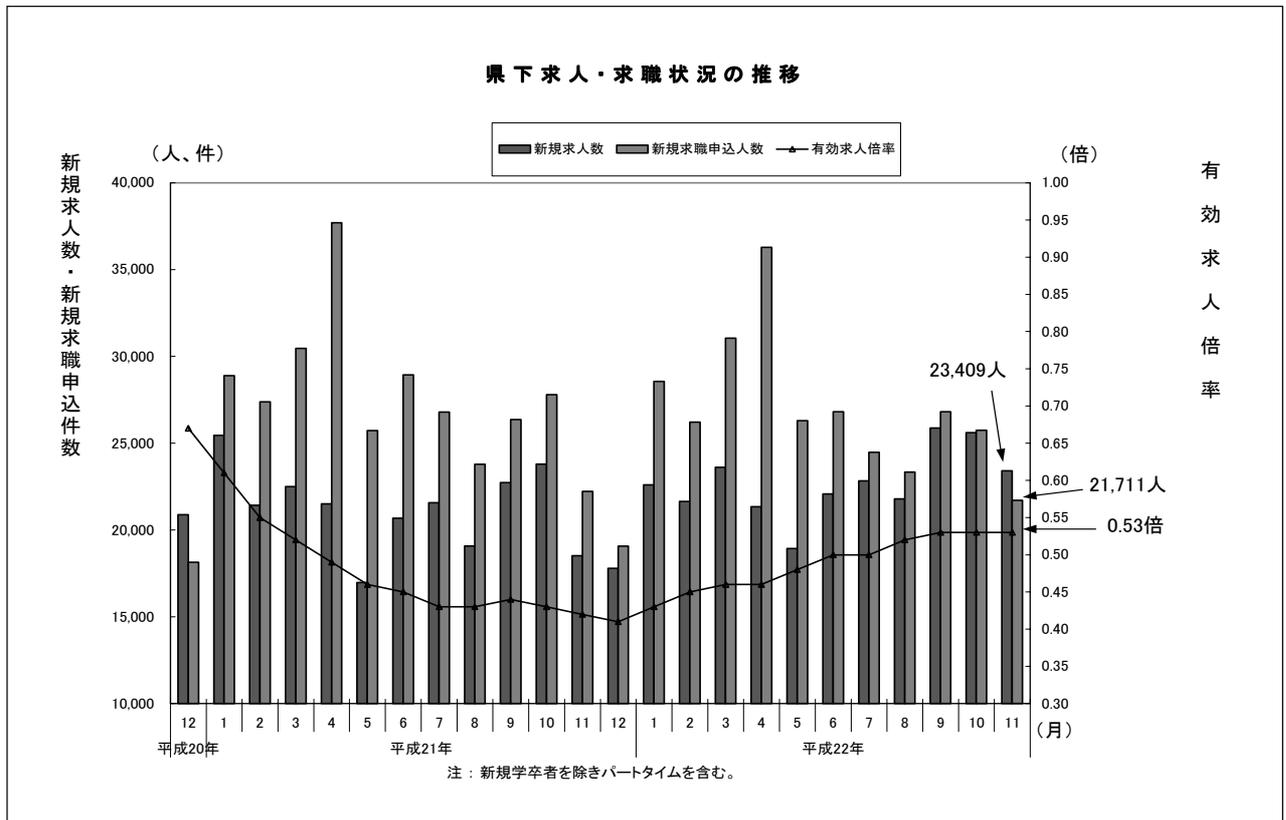
(単位：人、前年同月比増減率：%)

資料：兵庫労働局

雇 用 ・ 賃 金 の 推 移

項 目 ・ 年 月	09/10-12	10/1-3	10/4-6	10/7-9	10/09	10/10	10/11
有 効 求 人 倍 率 (季調済、倍)	0.42	0.45	0.48	0.52	0.53	0.53	0.53
新 規 求 人 数 (原数値、前年比%)	16.0	2.2	5.4	11.2	13.8	7.6	26.4
所 定 外 労 働 時 間 (規模5人以上、前年比%)	6.0	5.6	13.2	14.7	13.7	14.6	11.1
常 用 労 働 者 数 (規模5人以上、前年比%)	0.6	0.5	1.1	1.2	1.3	0.8	0.5
一 人 当 り 名 目 賃 金 (規模5人以上、前年比%)	5.0	0.7	0.7	0.0	0.5	1.4	1.1

資料：兵庫労働局、兵庫県県民政策部



【信用保証】

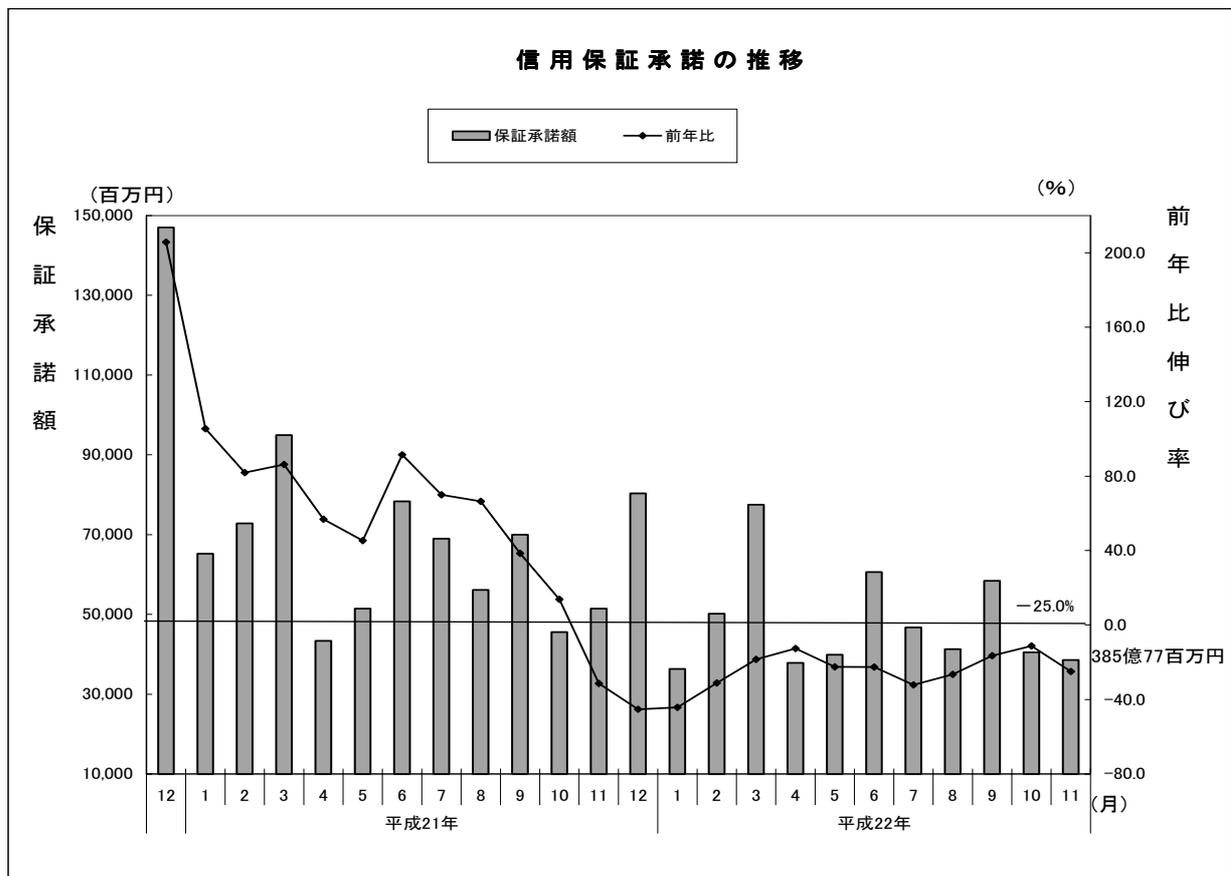
兵庫県信用保証協会による11月の保証承諾実績は、件数で2,376件(前年同月比18.9%減)、金額は385億77百万円(同25.0%減)となり、13か月連続で前年実績を下回った。

平成20年10月末導入の緊急保証制度の承諾が高水準で推移していた反動で、件数、金額とも連続減となった。

業種別(金額ベース)では、「サービス業」4,178百万円(前年同月比15.0%減)、「卸売業」7,518百万円(同17.0%減)、「飲食店」991百万円(同23.0%減)、「製造業」8,292百万円(同25.2%減)、「小売業」4,232百万円(同26.2%減)、「不動産業」1,244百万円(同27.0%減)、「建設業」10,266百万円(同30.1%減)、「運送・倉庫業」1,617百万円(同43.1%減)で前年同月を下回った。

一方、同月の代位弁済は、211件(前年同月比36.3%減)、27億82百万円(同31.2%減)となった。

11月末の保証債務残高は、117,862件(前年同月比3.2%減)、1兆4,578億50百万円(同0.3%減)となった。



【金 融】

10月末の県内金融機関の預貸金残高(日本銀行神戸支店調べ)は以下の通り(単位：億円、前年同月比増減・%)。

	預 金	前年同月比	貸 出	前年同月比
都市銀行等	136,242	1.6	57,405	0.9
地方銀行	23,051	0.3	18,772	1.0
第二地方銀行	29,908	0.7	20,007	1.7
信用金庫	77,398	2.2	38,510	1.9
その他	16,049	2.4	16,712	0.4
計	282,648	1.6	151,406	1.1

・都銀等 = 都市銀行、信託銀行、新生銀行、シティバンク銀行の計。

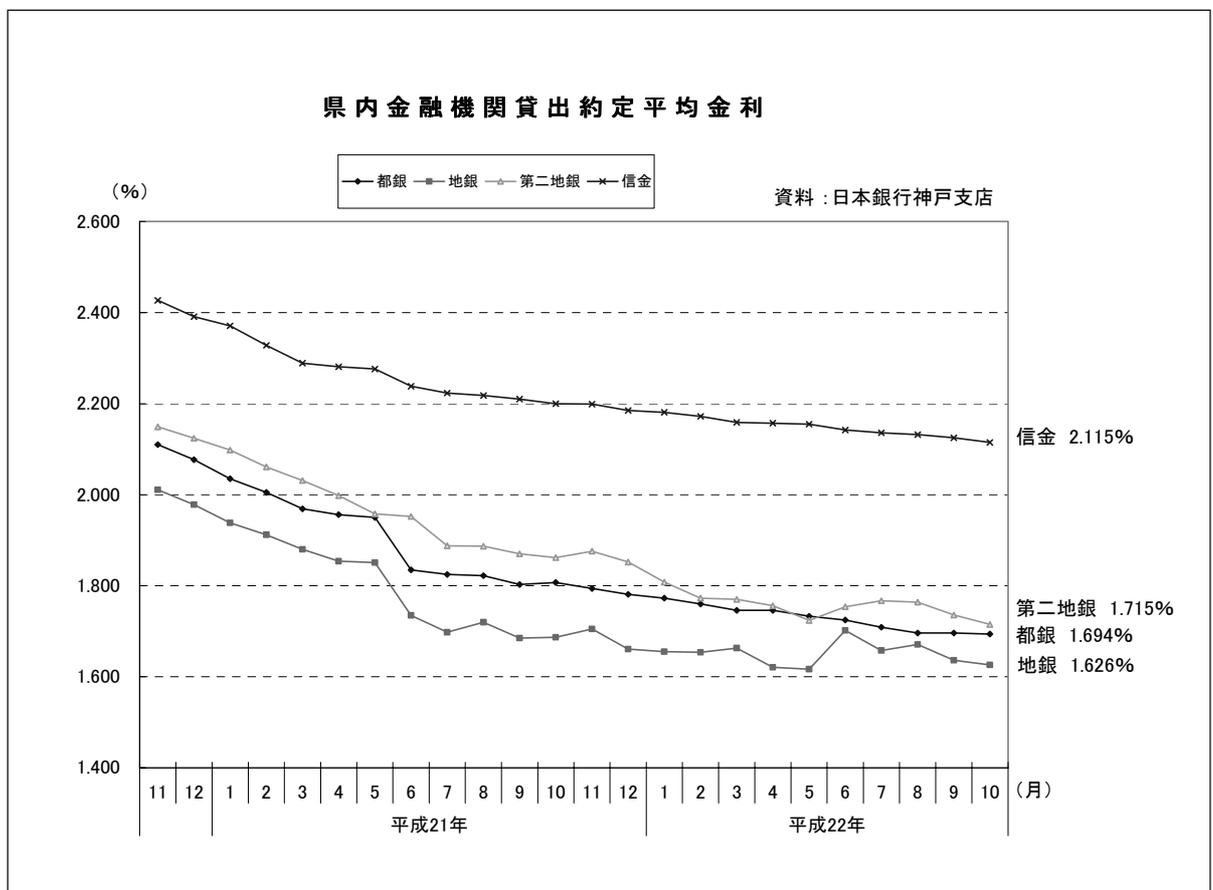
・その他 = 信用組合、労働金庫、商工中金、国民公庫、中小公庫の計。ただし、預金は国民公庫、中小公庫を除く。

10月の預金は、前年を上回って推移している。

10月の貸出は、前年を下回って推移している。

10月の貸出約定平均金利(ストックベース)は、緩やかに低下している(10月末水準 1.836%、前月比 0.009%ポイント)。

1月は日本銀行神戸支店の公表がないため、本頁については12月分と同内容となっておりますが、ご了承願います。



【倒産】

県内12月の企業倒産(負債総額1千万円以上、東京商工リサーチ神戸支店)は52件で前年同月比22.4%減少、負債総額は79億70百万円で同17.1%の増加となった。倒産件数は、前月比21件減少、前年同月比でも15件の減少となり、前年の月間平均件数62.6件と比較しても10.6件の減少となった。負債額1億円未満の小口倒産は37件で全体の71.2%を占めている。

原因別(件数)では、販売不振が37件(全体の71.2%)と前月比22件の減少となったが、当月もトップ。2番目は過小資本5件と続いている。販売不振、赤字累積、売掛金回収難等「不況型」倒産は41件と前月比19件の大幅減少となったが、構成比は78.8%と依然高い割合を占めている。

業種別(件数)では、建設業が17件(全体の32.7%)と最も多く、2番目は不動産・サービス他業15件、次いで食品業が8件、金属・機械・電気業6件と続いている。

兵庫県下の12月の企業倒産件数(負債総額1千万円以上)は52件で、特に、直近2か月間は70件台の高水準を保持していたものの、前月比で21件、前年同月比においても15件と共に大幅な減少に転じ、今年度で3番目に少ない件数であった。

日本銀行神戸支店が12月15日に発表した「管内金融経済概況」によると、「管内の景気は、持ち直しを続けているが、そのペースは一段と鈍化している」と前月発表から下方修正した。また、「管内企業の足もとの業況感は改善した。先行きは全体として悪化を見込んでいる」としている。

「資本金別」では、「個人企業」の倒産が17件と前月比15件の大幅減少ながら引続きトップとなり、構成比は依然として高い水準にある。「産業別」では、「建設業」が17件と前月に続いてトップ、次いで「サービス・他業」が16件となった。資金需要が高まる年末に、ここ2か月間続いた高水準の倒産件数から大幅な減少とはなったが、今後も同様の貴重が続くのか否か、景気が回復傾向にあるのか否か等を判断するのは時期尚早であり、12月単月のみを捉えるのではなく、最低限、年度末までの推移を注意深く見守る必要がある。

12月の原因別・業種別の倒産件数

(負債総額1,000万円以上)

原因別						業種別					
	当月	前月	前月比	前年	前年比		当月	前月	前月比	前年	前年比
放漫経営	4	6	-2	5	-1	金属・機械・電気	6	9	-3	10	-4
過小資本	5	3	2	2	3	化学・薬品	0	0	0	0	0
連鎖倒産	1	3	-2	3	-2	ゴム・皮革・ケミカル	0	4	-4	1	-1
赤字累積	4	1	3	6	-2	食品	8	16	-8	9	-1
販売不振	37	59	-22	49	-12	建設	17	21	-4	15	2
売掛金回収難	0	0	0	0	0	不動産・サービス	15	11	4	17	-2
その他	1	1	0	2	-1	運輸・通信他	6	12	-6	15	-9
合計	52	73	-21	67	-15	合計	52	73	-21	67	-15

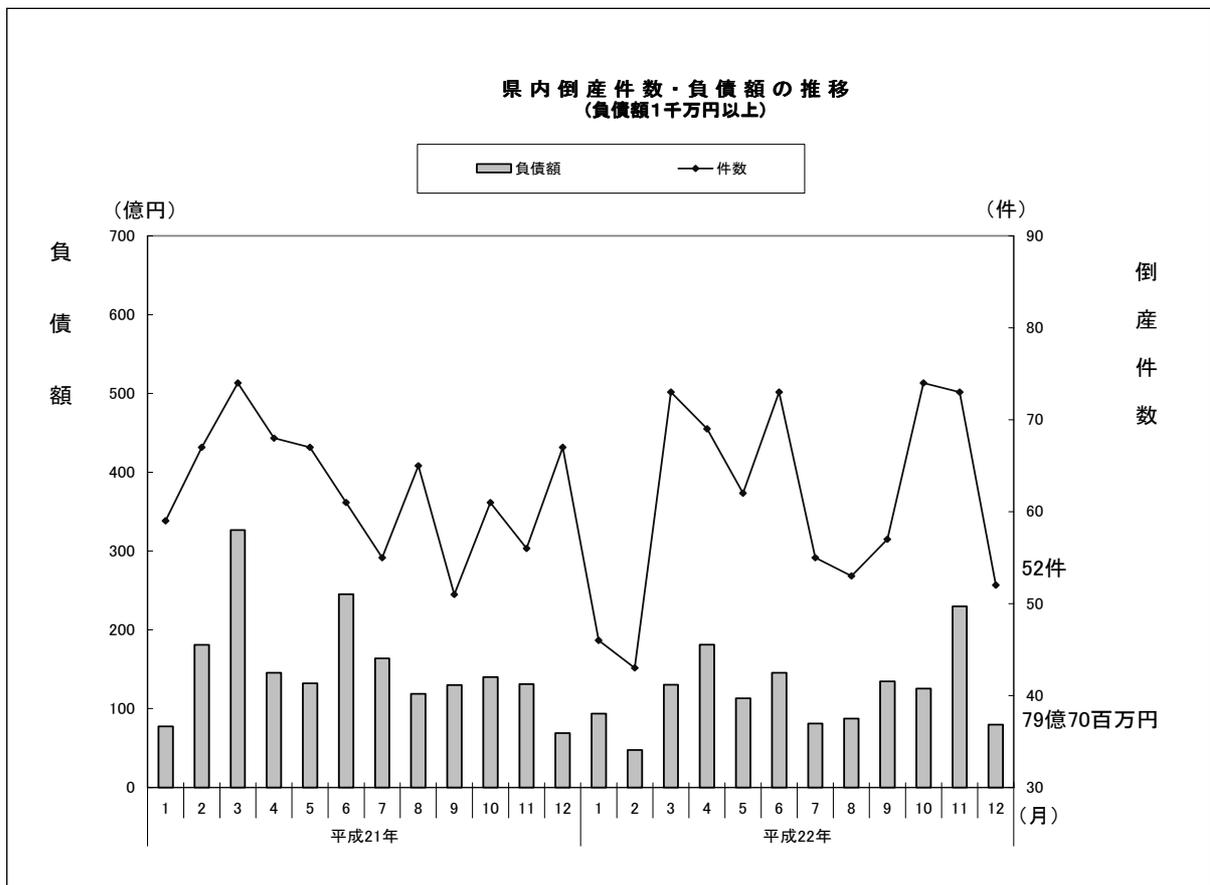
資料：東京商工リサーチ神戸支店

県下企業倒産件数地区別内訳 (負債総額1,000万円以上)

(単位: 件数)

年 月	総数	神戸	阪神	西播	東播	但馬	丹波	淡路
17年 平均	54.1	17.5	15.9	8.5	8.8	1.8	0.8	0.8
18年 平均	50.4	16.0	16.2	5.8	8.3	1.7	1.3	1.1
19年 平均	59.3	21.3	13.6	8.3	11.3	1.8	1.3	1.7
20年 平均	62.3	20.6	19.0	7.9	10.6	1.8	1.3	1.1
21年 平均	62.6	21.6	18.5	9.8	9.1	0.9	1.1	1.6
22年 1月	46	11	17	8	6	2	0	2
2月	43	17	12	4	8	0	1	1
3月	73	24	25	11	6	3	0	4
4月	69	21	28	11	8	0	0	1
5月	62	22	18	14	3	2	1	2
6月	73	26	25	14	4	1	1	2
7月	55	12	21	10	8	1	2	1
8月	53	20	14	6	9	1	2	1
9月	57	22	17	6	8	3	0	1
10月	74	28	28	8	6	1	1	2
11月	73	29	22	7	12	3	0	0
12月	52	18	20	9	5	0	0	0

資料: 東京商工リサーチ神戸支店



県内主要経済指標

項目 年月	鉱工業生産指数(季節調整済)				公共工事請負金額			新設住宅着工戸数			
	兵庫県 (17年=100)		全国 (12年=100)		兵庫県		全国	兵庫県		全国	
	指数	前月比	指数	前月比	金額	前年比	前年比	戸数	前年比	前年比	
		%		(億円)		%		(戸)		%	
21年 1月	83.1	-9.4	76.0	-10.0	166	-10.8	1.9	2,015	-31.4	-18.7	
2月	78.4	-6.2	68.7	-9.4	169	-6.6	-2.8	2,500	-31.7	-24.9	
3月	80.5	2.0	70.6	1.6	352	-9.9	15.3	3,019	-14.5	-20.7	
4月	78.7	0.4	74.3	5.2	343	-12.2	20.5	2,991	-21.0	-32.4	
5月	79.9	1.4	79.2	5.9	130	-18.6	2.5	2,139	-40.3	-30.8	
6月	84.1	5.5	81.0	2.4	301	72.2	12.7	2,582	-38.6	-32.4	
7月	81.9	2.5	82.4	1.9	276	0.0	2.5	2,631	-24.1	-32.1	
8月	84.3	1.9	84.1	1.8	204	0.7	8.7	2,149	-36.8	-38.3	
9月	85.5	3.2	85.1	1.4	318	51.5	22.1	2,502	-19.5	-37.0	
10月	87.0	2.1	86.1	0.5	322	14.2	8.3	2,888	-14.5	-27.1	
11月	89.0	3.3	88.0	2.2	207	-6.7	0.0	2,873	-3.0	-19.1	
12月	90.5	0.9	89.7	1.9	217	-1.0	10.3	3,001	-12.4	-15.7	
22年 1月	95.6	1.7	92.1	2.7	217	30.8	-3.8	2,291	13.7	-8.1	
2月	92.8	-1.3	93.7	-0.6	215	26.7	-8.8	3,387	35.5	-9.3	
3月	90.9	-2.1	94.8	1.2	602	70.9	-16.0	4,120	36.5	-2.4	
4月	94.3	3.8	96.0	1.3	300	-12.5	-0.1	2,618	-12.5	0.6	
5月	96.8	2.4	96.1	0.1	209	59.9	-5.9	2,511	17.4	-4.6	
6月	98.2	1.5	95.0	-1.1	239	-20.7	-5.8	2,426	-6.0	0.6	
7月	94.9	-3.6	94.8	-0.2	350	27.1	-8.8	3,293	25.2	4.3	
8月	97.9	4.2	94.3	-0.5	208	2.0	-8.4	3,107	44.6	20.5	
9月	95.6	-2.3	92.8	-1.6	314	-1.4	-18.8	2,836	13.3	17.7	
10月	r 95.3	-0.4	90.9	-2.0	257	-20.3	-18.1	2,372	-17.9	6.4	
11月	p 93.1	-2.3	91.8	1.0	254	22.8	-6.8	2,522	-12.2	6.8	
12月					194	-10.8	-18.1				
資料	兵庫県統計課		経済産業省		西日本建設業保証(株) 兵庫支店			兵庫県住宅宅地課		国土交通省	

* p は速報値 r は確報値

項目 年月	乗用車新車登録台数 (含む軽自動車)			百貨店売上高			輸出入状況(神戸港)				
	兵庫県		全国	兵庫県		全国 (既存店)	輸出		輸入		
	台数	前年比	前年比	金額	前年比	前年比	金額	前年比	金額	前年比	
		%		(億円)		%		(億円)		%	
21年 1月	10,082	-21.3	-20.0	213	-10.1	-9.2	3,009	-30.1	2,256	-11.6	
2月	13,129	-25.3	-24.4	159	-13.3	-11.4	3,269	-36.5	1,491	-32.4	
3月	17,786	-23.5	-24.5	192	-15.7	-12.9	3,689	-35.5	1,923	-22.0	
4月	9,162	-21.8	-22.8	180	-8.9	-11.3	3,432	-33.5	1,918	-26.8	
5月	9,482	-18.6	-17.4	167	-19.6	-12.7	3,326	-34.2	1,689	-37.4	
6月	12,600	-10.3	-12.2	193	-6.9	-8.9	3,597	-33.2	1,834	-29.0	
7月	14,538	0.0	-2.8	212	-12.0	-11.8	3,606	-35.8	1,953	-27.6	
8月	9,906	1.1	3.2	164	-9.8	-8.9	3,509	-31.8	1,793	-31.3	
9月	17,427	10.8	4.2	167	-6.9	-7.8	3,566	-37.6	1,916	-31.7	
10月	13,934	10.6	7.8	178	-8.8	-10.6	3,908	-25.6	1,936	-30.6	
11月	14,618	26.8	24.7	194	-15.9	-11.8	3,483	-16.6	1,909	-18.2	
12月	12,899	29.1	27.3	271	-1.3	-5.1	4,008	-9.1	1,850	-21.8	
22年 1月	13,089	29.8	24.9	202	-5.1	-5.7	3,487	15.9	2,016	-10.6	
2月	16,509	25.7	21.9	144	-9.2	-5.3	3,696	13.0	1,642	10.1	
3月	23,000	29.3	25.2	185	-3.5	-3.6	4,520	22.5	2,029	5.5	
4月	11,698	27.7	26.4	173	-3.9	-3.7	4,561	32.9	2,176	13.4	
5月	11,392	20.1	23.0	174	4.2	-2.1	4,179	25.6	2,047	21.2	
6月	14,759	17.1	18.1	175	-9.4	-5.7	4,297	19.4	2,122	15.7	
7月	16,129	10.9	12.9	219	3.6	-1.4	4,774	32.4	2,060	5.5	
8月	14,456	45.9	40.1	161	-2.0	-3.0	4,072	16.0	2,115	17.9	
9月	16,338	-6.2	-3.2	159	-5.1	-5.0	4,431	24.3	1,998	4.2	
10月	9,670	-29.8	-25.9	176	-1.2	0.6	r 4,606	17.9	r 1,771	-8.5	
11月	10,036	-31.3	-29.8	193	-0.2	-0.4	p 4,094	17.5	p 2,002	4.9	
12月	9,426	-26.9	-25.5	267	-1.3						
資料	自販連兵庫県支部 兵庫県軽自動車協会			兵庫県百貨店協会		近畿経済 産業局	神戸税関				

* p は速報値 r は確報値

* 百貨店売上高の前年比は店舗調整後

項目 年月	有効求人倍率 (パートを含む)		県下常用労働者数 (30人以上,月末推計)		県下名目賃金指数 (定期給与,30人以上)		消費者物価指数 (17年=100)			
	兵庫県	全国	全産業 (千人)	前年比 %	指数 (12年=100)	前年比 %	神戸市		全国	
							指数	前年比 %	指数	前年比 %
21年 1月	0.61	0.65	1,003	5.2	99.3	-3.2	100.2	0.2	100.7	0.0
2月	0.55	0.58	1,003	5.6	99.7	-5.2	99.7	0.1	100.4	-0.1
3月	0.52	0.53	996	4.8	98.0	-6.1	100.1	-0.1	100.7	-0.3
4月	0.49	0.48	1,009	4.3	98.3	-5.5	100.6	0.2	100.8	-0.1
5月	0.46	0.46	1,014	4.8	96.8	-4.9	100.4	-0.6	100.6	-1.1
6月	0.46	0.45	1,012	4.8	97.4	-4.9	99.9	-1.3	100.4	-1.8
7月	0.43	0.43	1,008	4.3	97.5	-5.0	99.5	-1.7	100.1	-0.3
8月	0.43	0.42	1,007	4.2	97.1	-4.1	99.7	-1.8	100.4	-2.2
9月	0.44	0.43	1,007	4.2	97.8	-4.1	100.0	-1.8	100.4	-2.2
10月	0.43	0.43	1,003	4.9	96.9	-4.9	99.6	-2.2	100.0	-2.5
11月	0.42	0.43	1,003	5.0	97.7	-3.1	99.1	-2.2	99.8	-1.9
12月	0.41	0.43	1,005	5.0	97.3	-3.9	99.0	-2.0	99.6	-1.7
22年 1月	0.43	0.46	999	-0.4	96.4	-2.9	98.5	-1.7	99.4	-1.3
2月	0.45	0.47	997	-0.6	96.7	-1.0	98.5	-1.2	99.3	-1.1
3月	0.46	0.49	993	-0.3	97.3	-0.7	98.8	-1.3	99.6	-1.1
4月	0.46	0.48	1,000	-0.9	98.1	-0.2	99.4	-1.2	99.6	-1.2
5月	0.48	0.50	1,003	-1.1	97.2	0.4	99.6	-0.8	99.7	-0.9
6月	0.50	0.52	1,002	-1.0	98.0	0.6	99.4	-0.5	99.7	-0.7
7月	0.50	0.53	1,004	-0.4	97.9	0.4	98.9	-0.6	99.2	-0.9
8月	0.52	0.54	1,002	-0.5	97.7	0.6	99.4	-0.3	99.5	-0.9
9月	0.53	0.55	1,003	-0.4	98.3	0.5	100.1	0.1	99.8	-0.6
10月	0.53	0.56	1,005	0.2	98.1	1.2	100.7	1.1	100.2	0.2
11月	0.53	0.57	1,007	0.2	98.3	0.6	r 100.2	1.1	99.9	0.1
12月							p 99.6	0.6		
資料	兵庫労働局		兵庫県統計課				兵庫県統計課		総務省	

項目 年月	国内企業物価指数 (17年=100)		県下金融機関 貸出金残高		貸出約定 平均金利	県下企業倒産(負債1,000万円以上)					
	全国		金額		全国銀行	件数	金額	地域別倒産件数			
	指数	前年比 %	(各期末)	前年比 %				神戸	阪神	播磨他	
21年 1月	105.5	-0.2	152,735	-1.0	1.824	59	78	18	18	23	
2月	105.0	-1.1	152,526	-0.8	1.795	67	181	20	26	21	
3月	104.3	-2.2	155,403	-1.8	1.776	74	326	29	16	29	
4月	103.6	-3.8	153,829	-0.8	1.756	68	146	28	16	24	
5月	103.0	-5.4	154,526	-1.4	1.746	67	132	21	16	30	
6月	102.6	-6.6	153,000	-1.5	1.703	61	245	18	13	30	
7月	102.9	-8.5	153,523	-1.0	1.697	55	164	13	15	27	
8月	103.0	-8.5	152,439	0.1	1.694	65	119	27	21	17	
9月	103.0	-7.9	153,641	2.3	1.680	51	130	18	21	12	
10月	102.2	-6.8	153,086	2.1	1.680	61	140	22	15	24	
11月	102.2	-5.0	152,173	0.8	1.674	56	131	17	21	18	
12月	102.2	-3.8	153,743	0.2	1.655	67	69	28	24	15	
22年 1月	102.4	-2.2	152,961	0.1	1.649	46	94	11	17	18	
2月	102.5	-1.6	152,784	0.1	1.641	43	47	17	12	14	
3月	102.6	-1.3	153,787	-1.0	1.623	73	131	24	25	24	
4月	103.0	-0.2	151,763	-1.3	1.618	69	181	21	28	20	
5月	103.2	0.5	152,195	-1.5	1.614	62	113	22	18	22	
6月	102.8	0.4	151,049	-1.3	1.599	73	146	26	25	22	
7月	102.8	-0.1	151,709	-1.2	1.597	55	81	12	21	22	
8月	102.8	0.0	150,656	-1.2	1.588	53	87	20	14	19	
9月	102.9	-0.1	151,553	-1.4	1.565	57	135	22	17	18	
10月	102.9	0.8	151,406	-1.1	1.569	74	125	28	28	18	
11月	r 103.0	0.9			1.566	73	230	29	22	22	
12月	p 103.4	1.2				52	80	18	20	14	
資料	日本銀行				(株)東京商工リサーチ 神戸支店						

* p は速報値 r は確報値